

第307回：薩埵峠（静岡）のご案内

（★初級者向き）

広重の描いた峠の富士 由比～興津・薩埵峠を歩く！

興津宿と由比宿の間にある全長 3km の峠で、かつては弥次・喜多も旅したといわれている東海道の難所。歌川広重の東海道五十三次「由井」にも描かれており、今も往時と同じ富士の絶景を見ることができます。



1、月 日	2月3日(金曜日) ※雨天時2月6日(月曜日)に延期		
2、集 合	JR 東海道線「興津駅」10時15分		
3、交 通 (参 考)	JR 東海道線横浜駅 7:29(熱海行)に乗車し、熱海駅で 9:06 発島田行に乗換え、 興津駅で下車 10:11 着 （横浜駅乗車以外の方は、戸塚 7:39 大船 7:46 小田原 8:30 それぞれ熱海行きにご乗車下さい）（注）ダイヤは 2022 年 8 月時点です！		
4、コース	興津駅—清見寺往復—常夜灯—興津中町歩道橋—興津川—海岸寺—薩埵峠石標—休憩所—山之神展望台—峠の駐車場—薩埵峠—西倉沢・望嶽亭（藤屋）—倉沢屋—あかりの博物館—名主の館・小池邸—穂積神社—由比		
	標高差	80 m	歩行距離 or 歩行時間 約 9km 2 時間 30 分
5、天 気	前日 18 時頃の天気予報で、現地の予報が降水確率 40%未満の場合には実施、それ以上の場合には延期（延期日も悪天候の時は中止）・問い合わせはリーダー迄お願い致します。尚、実施可否はホームページでもお知らせ致します。リーダー 東(アズマ)080-4147-0585		
6、申込み リーダー	● 申込み先：東(アズマ)080-4147-0585 E-mail:azuma-st@agate.plala.or.jp ● 申込み締め切り 1 月 29 日(日曜日)		
7、その他	<ul style="list-style-type: none"> ・清見寺～1300 年の歴史を刻む東海道屈指の名刹、江戸時代には徳川氏の庇護を受け、東海道沿いにあることから、朝鮮通信使の接待がこの寺で行われた。 ・望嶽亭 藤屋～室町時代より藤屋という名で茶店を営み、多くの文人墨客で賑わったといわれています。又、明治元年、西郷隆盛に会うため駿府に向かう途中、官軍に追われた幕臣・山岡鉄舟が逃げ込んだ場所としても有名。 ・名主の館 小池邸～由比地区で長年名主を務めた小池家の母屋は、明治期に建てられたもので国登録有形文化財。街歩きのリゾートとしても利用可能。 ・あかりの博物館～焚き火からかがり火へ、ローソクから電灯へ。さまざまに姿を変えながら、いつの時代にも変わることなく暮らしを支えてきた“あかり”の歴史がわかります。 		

